

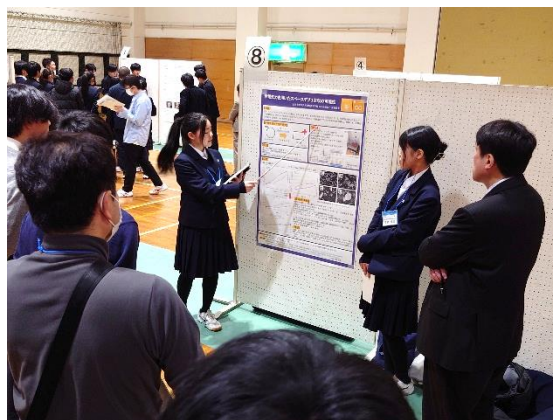
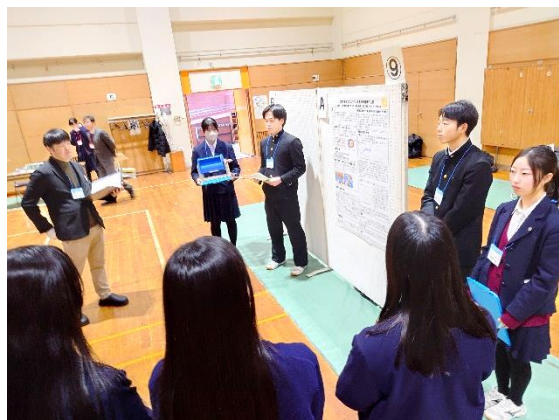
令和7年度 東北地区サイエンスコミュニティ研究校発表会

1月30日(金)~1月31日(土)酒田市総合文化センターを会場に行われた東北地区サイエンスコミュニティ研究校発表会に参加しました。東北地区6県のSSH指定校など、理数系の課題発表に積極的に取り組んでいる高校生が、授業や部活動で取り組んできた研究成果を対面で発表し、発表者との対話を通じて相互交流・評価を行います。研究と社会とのつながり、社会課題解決の一助となる研究の在り方を学ぶ機会になりました。

東北地区サイエンスコミュニティ研究校発表会で学んだこと

2年 女子

私たちは東北地区サイエンスコミュニティ研究校発表会に参加し、ポスターセッションで「静電気力を用いたスペースデブリ回収の可能性」という題で発表を行いました。緊張した上、回答に苦慮する手強い質問もありましたが、それだけ自分たちの行ってきた研究が宇宙工学的・社会的な価値がある研究なのだと改めて実感することができ、また新しい着眼点を得ることができました。他校の発表は、東北のSSH指定校の代表が集まる大会ということもあり、とても質が高く、研究に対する情熱が伝わってきました。全ての発表を見ることはできませんでしたが、内容やプレゼンテーションの手法について、大変参考になりました。また、このような機会は必ず将来役に立つはずなので、一つ一つの経験を大事にしていきたいと思います。今後も培った学びを糧に、より良い研究ができるよう、精一杯努力していきたいです。



【環境SDGsアワード2025】

2月4日(水)、山形大学小白川キャンパスを会場に「環境SDGsアワード2025」が開催されました。本校からは、3つの班が一次審査を突破し、最終審査に進み発表に臨みました。

「二重反転式サボニウス型風車の発電量の検証」をテーマに発表した7代目チームサボ(2年生徒4名)が審査員特別賞を受賞しました。



「環境の変化に伴う樹木の窒素吸収速度の変化」



「静電気力を用いたスペースデブリ回収の可能性」



「二重反転式サボニウス型風車の発電量の検証」



審査員特別賞受賞!

【2学年 SSR (スーパーサイエンスリサーチ) 活動】

- ・一般社団法人 NEXT TOURISM主催「観光甲子園2025」
決勝大会出場(全国5チーム) 2年女子3名
- ・一般社団法人英語4技能・探究学習推進協会(ESIBLA)主催 中高生のための英語×探究プレゼンコンテスト「第8回Change Maker Awards」
東日本ブロック決勝 金賞(全国大会出場) チーム「ONI³」2年女子3名

